

(学年) 2年、(教科・科目) 総合的な探究の時間・探究の広場 1

一斉学習

(単元) 情報の収集と活用の仕方 (情報活用探究)

(本時のねらい)

本単元は、「情報収集探究」と「情報活用探究」に分かれており、「情報収集探究」では、探究活動に必要な情報を収集する方法について学習している。本時は「情報活用探究」として、収集した情報を読み取り整理する方法を学ぶために、表計算ソフトを使用し数値データのグラフ化を行い、データの傾向や特徴を読み取る活動を行う。収集した情報を読み取り、整理する手法について理解するとともに、それらを探究活動に生かすことで、自分の主張をより深められるようにすることをねらいとしている。

(ICT 活用方法)

学習内容の説明は電子黒板を使用して行う。演習で扱う表計算ソフトのファイルを、コラボレーションプラットフォームのチャット機能を使用して生徒の一人一台端末へ送付する。一人一台端末を用いて、生徒各々で演習に取り組む。生徒は、演習後のファイルを、コラボレーションプラットフォームを使用して教員へ提出する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT 活用方法
導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容を把握させる。 	
展開 42分	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板に示されたスライドを見て説明を聞く。 数値データをグラフに表現して視覚化することで、データの傾向や特性が見つけやすくなることを知る。 一人一台端末を使用して演習を行う。 表計算ソフトでデータを分析する。 ① 部活動ごとの人数を集計する。 ② 帰宅時間、充実度をグラフであらわす。 ③ 充実度を分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> 処理の目的やデータの特徴に合わせて、使用するグラフを適切に選択することが必要であることを伝える。 あらかじめ表の形でまとめたデータを準備しておく。 手順書を用意しておき、生徒が表計算ソフトの操作に迷わないようにする。 どのグラフを使うとデータの特徴が把握し 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板を用いて説明する。 コラボレーションプラットフォームを使用して、演習に必要なファイルを生徒に送付しておく。 電子黒板でも操作方法を丁寧に説明する。

	④ 自由に分析をしてみる。 ・分析した結果を教員へ提出する。	やさいか考えさせる。	・コラボレーションプラットフォームを使用して、教員へファイルを提出する。
まとめ 5分	・本時の学習内容を振り返る。 ・出席確認をする。	・レポートの問題を確認させる。	

(授業の様子)



電子黒板①



電子黒板②

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

グラフの種類や特徴を事前に説明してから演習を行うことで、生徒がデータの傾向を考え、どのグラフを用いて表現すべきかを試行錯誤しながら積極的に取り組む様子が見られた。課題は、ICT スキルの差である。本校進学時までの学習経験の違いから、パソコン操作の習熟度に大きな差がある。一人一台端末を使う際は、操作が苦手な生徒に対して丁寧な指導を要する。スムーズに授業で一人一台端末を活用できるようにするために、生徒が一人一台端末を利用する機会を多く用意していく必要がある。